

提供先

大阪市政記者クラブ  
大阪府政記者会  
大阪経済記者クラブ

担 当	《※大阪文化祭 参加行事問合せ先》 財団法人大阪 21 世紀協会 コラボレーショングループ 土井・安田 TEL 06-6942-2004
	大阪市 ゆとりとみどり振興局 文化部文化振興担当課長 伊東 TEL 06-6615-6278
	大阪府 生活文化部 文化・スポーツ振興室 文化課 文化振興グループ 田中 TEL 06-6944-9140

## 平成 20 年度 大阪文化祭賞受賞者の決定について

大阪市、大阪府及び財団法人大阪 21 世紀協会では、芸術文化活動の奨励及び普及を図るなど、文化振興の機運を醸成することを目的とし、5 月、6 月の 2 ヶ月にわたり「大阪文化祭」を開催しました。

今年度の大阪文化祭参加公演 77 件について審査した結果、注目すべき成果をあげた 8 件（大阪文化祭賞 1 件・同奨励賞 7 件）の受賞者が決定しました。また、大阪文化祭賞のうちから、特に優れたものに対し贈呈する大阪文化祭賞グランプリについては、1 件に決定しました。

### 記

#### 1. 受賞者・受賞内容

別紙のとおり

#### 2. 参加件数及び受賞件数

- 参加件数 77 件
- 受賞件数 8 件

※ 写真がご入り用のときはご連絡ください

※ 文化祭賞受賞者からグランプリを決定

# 平成20年度 大阪文化祭賞受賞者一覧

## 第1部門 (伝統芸能・邦舞・邦楽)

賞	受賞者氏名	贈呈理由
奨励賞	トヨタケ ムツミ ダユウ 豊竹睦大夫 ツルサワ セイキ 鶴澤清植	ブンラク ワカ テ カイ 文楽若手会における「大井川の段」の成果
奨励賞	ヤマムラ ワカ シマキ 山村若嶋紀	ヤマムラ ワカ サキ カミガタマイ カイ ジョクン キョクジツショウジュショウキネン 山村若佐紀 上方舞の会 叙勲旭日小綬章記念 コウエン カネ ミサキ セイカ 公演における「鐘ヶ岬」の成果

## 第2部門 (現代演劇・大衆芸能)




賞	受賞者氏名	贈呈理由
奨励賞	イップウ テイハズキ 一風亭初月	ロウキョクレン セイカイ セイカ 浪曲錬声会での成果
奨励賞	ナンジョウ コウキ 南条好輝	ナンジョウ コウキ チカマツ24バン ショウブ ソ 14 南条好輝の近松二十四番勝負 其の十四 タンバ ヨサク マツヨ セイカ 「丹波与作待夜のこむろぶし」の成果
奨励賞	ゲキダン 劇団コーロ	ゲキダン コウエン セイカ 劇団コーロ公演「ハンナのかばん」の成果

## 第3部門 (洋舞・洋楽)




賞	受賞者氏名	贈呈理由
文化祭賞 グランプリ	ジマシ カオル ダン 地主薫バレエ団	ジマシ カオル ダンソウリツ シュウネンキネン コウエン 地主薫バレエ団創立20周年記念公演 “ロミオとジュリエット”の公演の成果
奨励賞	ハレ マサヒコ 晴 雅彦	エンレン ハレ マサヒコ 演連コンサートOSAKA 49 晴 雅彦バリトン リサイタルの成果
奨励賞	タニ ヒロコ 谿 博子	タニ ヒロコ セイカ 谿 博子ピアノリサイタルの成果

大阪文化祭受賞内容の詳細

第1部門(伝統芸能・邦舞・邦楽)

賞	授賞者名 年齢(本名)	贈呈理由	参考事項	連絡先	公演会場	写真
				公演名・主催者	開催年月日	
奨励賞	フシラクワカテカイ ○文楽若手会  トヨタケムツミダユウ ①豊竹 睦 大夫 34歳 カネキ ダイスケ (金木 大介)  ②鶴澤 清 暲 27歳 ツボ イタカミチ (坪井 崇 通)	文楽若手会における「大井川の段」の成果  豊竹睦大夫・・・1973年生まれ。1996年に国立劇場第17期研修生となり、2年後に、豊竹嶋大夫に入門、最近まで、舞台上で語る師匠のそばで本番を聴いて学んできた。この公演において、まっすぐで素直な声に勢いがあつた。将来の可能性がわかれた。  鶴澤清暲・・・1980年生まれ。祖父が文楽三味線の二代目鶴澤道八という環境で、6歳から箏を習い、1993年、鶴澤清治に入門。3年後文楽研究生となり、1999年に初舞台を踏んだ。さすがに小さい時から文楽を意識して、けいこを重ねてきたことが演奏に生かされている。力強さも繊細さも兼ね備え、今後の活躍が楽しみな1人だ。	<豊竹睦大夫> 平成8年 国立劇場文楽第17期研修生となる 平成10年 豊竹嶋大夫に入門 睦大夫と名乗り、国立文楽劇場にて初舞台 平成20年 第27回国立劇場文楽賞文楽奨励賞、第36回文楽協会賞受賞  <鶴澤清暲> 平成5年 鶴澤清治に入門 平成8年 文楽協会研究生となる 平成11年 鶴澤清暲と名乗り、国立文楽劇場にて初舞台 平成19年 第35回文楽協会賞受賞	06-6212-2531	国立文楽劇場	 
				「文楽若手会」 国立文楽劇場	6月21日(土)・22日(日)	
奨励賞	○山村若佐紀上方舞の会 叙勲旭日小綬章記念公演 ヤマムラウカシマキ 山村若嶋 紀 34歳  カシノ アヤコ (可 信 綾 子)	山村若佐紀 上方舞の会 叙勲旭日小綬章記念公演における「鐘ヶ岬」の成果  裏切られた恋の傷の深さと男への恨み、すべて潜めた鐘への思いを背景とした道成寺ものの名曲を、凄みを秘めた静かな眼差し、肝の据わった独特の空気感で艶やかに舞い、見たものの心に残像を残した。生の地唄であったなら、なお輝きが増したことだろう。華は天性、オーラも天与。ただ、今はまだ、瑞々しくも硬さの残る楷書の舞。色づく蕾があでやかに開き、馥郁と才が香り立つ日へ期待を込めて、奨励賞を贈る。	昭和52年 山村若佐紀師に入門 名取免許 若嶋紀となる 平成2年より山村若佐紀 上方舞の会に毎年出演 平成12年11月 大阪府開催 ねんりんピック 大阪ドームでの会場にて山村若佐紀師、若乃師と共に「浪花十二日」の地唄舞に出演 平成18年 「文化のひろば」の会で「河内の女」を実演 平成20年 10年間 上方舞の会に連続出演して、芸芸ともにすぐれている事で、「上方舞研究所」より表彰される	06-6722-3708	国立文楽劇場	
				「山村若佐紀 上方舞の会 叙勲旭日小綬章記念公演」 山村若佐紀	6月29日(日)	

第2部門(現代演劇・大衆芸能)

賞	授賞者名 年齢(本名)	贈呈理由	参考事項	連絡先	公演会場	写真
				公演名・主催者	開催年月日	
奨励賞	○浪曲 錬 声 会 イソブウテイハズキ 一 風 亭 初 月  (森本 範子)	浪曲錬声会での一風亭初月の成果  浪曲家の総数より曲師の人数が少ない現状、しかも老令化が進んでいる。邦楽器である三味線を演奏する人口が激減している。こういった状況の中で、一風亭初月は、けんめいな努力によってめきめきと腕を上げてきた若手曲師である。この会でも、幸いってん、真山誠太郎、春野恵子という若手の演者を担当した。演者の個性に合わせたバチさばきは、実に初々しく、将来の成長を期待させるに十分であった。今回の受賞がさらなる努力の原動力となることを願って与えられる。	1998年 曲師 藤信初子に入門 1999年 デビュー 以降、ラジオ、テレビなど浪曲 曲師として若手からベテランまで様々な浪曲をひく  【受賞歴】 姫路少年刑務所より感謝状	06-6212-2531	国立文楽劇場	
				「浪曲錬声会」 国立文楽劇場	5月24日(土)	
奨励賞	ナンジョウコウキ ○南条好輝の近松二十四番勝負 其の十四 タンバヨサクマツヨ 「丹波与作待夜のこむろぶし」 ナンジョウコウキ 南 条 好 輝 55歳  カナノオサム (河 南 修)	南条好輝の近松二十四番勝負 其の十四 「丹波与作待夜のこむろぶし」の成果  「ほほお、こんな物語だったのか」。「丹波与作待夜のこむろぶし」を観た人は、そう思ったに違いない。「重の井子別れ」は文楽・歌舞伎でよく上演される人気作だが、その源流となった近松門左衛門のこの作品の全貌を知ると、また違った感動を覚える。近松の世話物全二十四作の魅力を改めて見直そうと4年前から続いている「南条好輝の『近松二十四番勝負』は、実に大阪らしい、意義ある試みである。シンプルな「語り芝居」ながら、現代語を使った脚本も練られていて分かりやすく、近松の物語世界に直接手で触れるような楽しみがある。ゴールに向けて、一層充実した舞台づくりを期待したい。	関西大学在学中、寺山修司の天井桟敷にて修業、さらにNHK大阪放送劇団付属研究所から劇団五期会を経て、現在、女優三島ゆり子氏と「南条好輝の近松二十四番勝負」を結成。語り芝居という独自のスタイルで近松門左衛門の世話物二十四全作品の完全上演に挑戦中。この10月に15本目を数える。関西を中心にTV・舞台で活動中。新劇から商業演劇までその守備範囲は広い。  【受賞歴】 1977年 関西俳優協議会 最優秀新人賞 1994年 池袋演劇祭 グランプリ賞 2002年 ギャラクシー賞 / 民間放送連盟 ラジオエンターティメント部門 最優秀賞	06-6848-7451	千日前TOLL HALL	
				南条好輝の近松二十四番勝負 其の十四 「丹波与作待夜のこむろぶし」	6月7日(土)・8日(日)	
奨励賞	○劇団コーロ公演 「ハンナのかばん」公演 劇団コーロ  昭和61年4月 発足	劇団コーロ公演「ハンナのかばん」の成果  第二次世界大戦のユダヤ人に対するホロコーストの物語を現代の児童や若者に伝える演劇として、非常に良心的に取り組み、日本の子供たちにも遠い過去の異国の話ではなく、身近に感じられるテーマとして作品を立ち上げた点が評価を得た。菊池准の演出も、演劇の持つ特性を生かし、想像力を喚起する手法で、役者はほとんどが2役3役をこなす奮闘。演技的には未成熟な部分も多かったが、声は良く表現力はあった。ユダヤ人に対するホロコーストを描いた作品としては、「アンネの日記」が代表的だが、「ハンナのかばん」も普遍的な力を持つ作品なので、長く上演をつづけてほしい。	昭和61年4月 発足 学校公演、おやこ劇場子ども劇場、文化庁巡回公演、大人向け一般公演等幅広く活躍する。平成7年3月 大阪市東住吉区の地に新しく稽古場兼事務所を持ち創造の拠点とする。  【受賞歴】 「砂の上のロビンソン」 平成元年 文化庁優秀舞台芸術奨励作品 / 中央児童福祉審議会推薦作品 「私が私と出会う時」 厚生省中央児童福祉審議会特別推薦 1991年 大阪新劇フェスティバル作品賞受賞 平成6年 文化庁優秀舞台芸術奨励作品 「わいどま、ぎゃあいうとたたききど」 1992年 キッズ&アーツ奨励賞受賞 「だれが石を投げたのか？」 1995年 大阪新劇フェスティバル作品賞受賞 平成9年 厚生省中央児童福祉審議会推薦 「武悪という名の男」 2007年 大阪新劇フェスティバル作品賞受賞	06-6695-6401	ワッハホール	
				劇団コーロ「ハンナのかばん」公演 劇団コーロ	6月16日(月)・17日(火)	

第3部門(洋舞・洋楽)

賞	授賞者名 年齢(本名)	贈呈理由	参考事項	連絡先	公演会場	写真
				公演名・主催者	開催年月日	
文化祭賞 グランプリ	ジヌシカオル ダン ○地主黨バレエ団  ジヌシカオル ダン 地主黨バレエ団  昭和63年9月1日設立	地主黨バレエ団創立20周年記念公演“ロミオとジュリエット”の成果  グランドバレエ「ロミオとジュリエット」は過去に多くの版があるが、ここでは演出・振付の地主黨の知識と創意に基づき作りあげられ、生き生きとした劇性を刻みつけた。功績のオーは、性急な青春のダイナミズムとリリズムを、ヴェテランでなく若い英才である倉永美沙・奥村康祐のコンビが描き切ったことにあり、特に四つのパ・ド・トゥの瑞々しい表現がすばらしい。そのほか人を得た配役、整然とした群衆処理、巧緻な色彩・照明効果、素早い転換など、すべてが一つに融け込んだ総合芸術にふさわしい存在感のある舞台になったことを評価する。	1988年 大阪市に地主黨バレエ団及び地主黨エコー・ド・バレエ創立。1991年より毎年、大阪府芸術劇場及び大阪市助成公演の指定を受け、自主公演を行う。 ・石田種生振付「竹取物語」全3幕・「くるみ割り人形」全2幕・「白鳥の湖」全4幕・「 Coppélia」全3幕・「シンデレラ」全3幕・地主黨振付「アリ・ババと40人の盗賊」全3幕他 また、団員は、自分自身の踊りだけでなく、大阪府下にバレエ団付属学校10ヶ所、韓国釜山に1ヶ所の講師を勤め、後輩の育成にも努力している。指導者の中には、ザ・バレコン福岡において、優秀指導者賞、東京新聞主催全国舞踊コンクールでは、特別賞として指導者大賞の受賞者、教え子の中からはローザンヌバレエコンクール、プロフェッショナルスカラシップ、モスクワ国際バレエコンクール、金メダル、東京新聞全国舞踊コンクール第1位など、国内外で上位入賞者を輩出し優秀な人材の育成にも力注いでいる。	06-6779-2340	大阪厚生年金会館 ウエルシティ大阪大ホール	
	地主黨バレエ団 創立20周年記念公演 “ロミオとジュリエット”	6月26日(木)				
奨励賞	ハレ マサヒコ ○晴 雅彦 41歳  ハレ マサヒコ (晴 雅彦)	演連コンサートOSAKA49 晴 雅彦バリトンリサイタルの成果  晴雅彦は、貴重な才能を持つオペラ歌手。多くのオペラで、彼は、主として脇役を演じ、その分野のなかで、絶大な存在感を示す。この日のリサイタルのプログラムも、日ごろ彼が演じてきた脇役の ariaなどをとりあげ、限られた範囲内で、振りつけ、衣装を整えて演唱した。「運命の力」(ヴェルディ)のメロトネ役、「スぺードの女性」のエレックキー公役など、通常のリサイタルには登場しない曲を、実に興味深く聴かせた。コミックの役を得意とする彼は、まさに日本のオペラ界で、貴重な存在だ。	大阪音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツ・ベルリンに留学。ドイツ・ケムニッツ歌劇場「魔笛」/パバゲーノでヨーロッパ・デビュー後、同歌劇場「ヘンゼルとグレーテル」「ウィンザーの陽気な女房たち」、ドイツ・ザクセン州立劇場「蝶々夫人」、ドイツ・ラインスベルク音楽祭「ヴァルグー」、スウェーデン・ヴァドステーナ音楽祭「ヴァルグー」等に出演。国内では、新国立劇場「フィガロの結婚」「運命の力」「ルル」「ラ・ボエーム」「ばらの騎士」「ニュルンベルクのマイスタージンガー」他、全国で活躍。「魔笛」/パバゲーノでチョン・ミョンフンやテオ・アダムと共演。レニングラード国立歌劇場管弦楽団等と共演。NHK「にんげんマップ」「名曲リサイタル」をはじめTBS、MBS、ABC等に出演。今秋、チョン・ミョンフン指揮「ラ・ボエーム」に出演予定。  【受賞歴】 ・平成2年 第3回和歌山音楽コンクール声楽部門 一般の部 第1位 ・平成9年 大阪府芸術劇場奨励新人 ・平成17年 咲くやこの花賞受賞	(社)日本演奏連盟 03-3437-6837	いずみホール	
	「演連コンサートOSAKA49 晴 雅彦バリトンリサイタル」 (社)日本演奏連盟	5月14日(水)				
奨励賞	タニ ヒロコ ○谿 博子 34歳  タニ ヒロコ (谿 博子)	谿 博子ピアノリサイタルの成果  「谿博子ピアノリサイタル」のプログラムは、「木曜リサイタル」作曲家シリーズの一環として、ドビュッシーでまとめられた。谿は特に《前奏曲集第2巻》の演奏において、隅々にまで響きを明晰にコントロールした上で、作品の実像をはっきりと描き出した。また《ヴァイオリンとピアノのためのソナタ》においても、多様な音色を駆使して周到な表現を行った。誠実な音楽への取り組みが結実したものとして評価し、今後益々の活躍を期待したい。	神戸女学院大学音楽学部を経て同大学大学院音楽研究科修了。パリ・エコー・ノルマル音楽院にて高等演奏家ディプロムを取得。(財)日本ピアノ教育連盟主催により安川加壽子音楽賞受賞記念リサイタルを津田ホール(東京)にて開催。07年には大阪・東京での帰国記念リサイタルの他、ラバト文化庁(モロッコ)等の招聘によりポルトガルとモロッコにて5回のリサイタルを開催。 世良美術館(神戸市)にてジョイントコンサートシリーズ「ドビュッシーとその周辺」を定期的に開催する等、室内楽、伴奏においても幅広く活動している。ピアノを奥村真理、B. ベクテレフ、池田洋子、M. メルシエ、A. ケフェレック、Y. アンリの各氏に、伴奏法を野平一郎氏に師事。 現在、神戸女学院大学音楽学部非常勤講師。  【受賞歴】 ・ハンナ・ギューリック・スエヒロ記念賞 ・第3回安川加壽子記念コンクール第1位及び安川加壽子音楽賞 ・第6回松方ホール音楽賞大賞 ・第8回イル・ド・フランス国際コンクール 第1位 ・第7回ララ・メリエム女王国際コンクール(モロッコ) グランプリ	大阪アーティスト協会 06-6135-0503	ムラマツリサイタルホール 新大阪	
	谿 博子ピアノリサイタル～ 木曜リサイタル作曲家シリーズ 「ドビュッシー」 大阪アーティスト協会	6月19日(木)				